

木耐協  
あ・れ・こ・れ  
寄稿

# 能登半島地震 被災地レポート

木耐協西日本事務局の田中が、富山市の組合員訪問に合わせて2月中旬に能登半島の被災地へ行ってきました。地震発生から約50日が経過していましたが、未だ手つかずのままの住宅が多い現地の様子をレポートします。

目の当たりにした  
被災地の惨状  
木造住宅の安全性と  
どう向き合っていくのか

## 輪島市



▲大規模火災が発生した「輪島市朝市」



## 穴水町



## 七尾市

▼今回の地震による被害状況を知るために



## 氷見市



組合員様専用ホームページにも写真を掲載しておりますので、合わせてご覧ください。



富山市の組合員を訪問した際、今回の地震による被害状況を知るために被災地視察を計画。組合員に輪島市へ通行可能な道や渋滞状況について教えてもらいました。その情報がなければ、今回の視察はできておらず、現地の声（情報）がいかに重要であるかが分かりました。道中の至る所で、倒壊した住宅や道路の隆起などの被害が散見され、耐震事業に携わる者として改めて耐震化推進の必要性を感じ、現地の状況も伝えなければと考えました。

西日本事務局 田中章浩